

第16回 ※なんとなく続けて今年で16回目

2024 たき火塾 in 奥多摩



新しい年の初め、山に入り、
自分のはじまりの火を焚きませんか。

世界がどのような状況でも、日常がどれほど忙しくても、
一旦すべてを忘れ、大自然の懷に抱かれた時、
人は自分の原点にもどることができます。

都市の生活の中では行うこともなくなった冬の暖かいたき火。
自分一人で、たき付けから火を育てることまで
じっくり味わえる機会を用意しました。

「火」は創造主から人間への贈りもの。
さまざまな形に変化し続けるその姿は
まさに透明な力をもつ生きもののようで
目に見えないものも 映し出し
自分も 大自然も 宇宙も 共にあることを感じさせてくれます。

手つかずの自然に見守られて
自分の育てる火と共に
2024年の新たな一歩を踏み出しませんか。

主催：武蔵野大学 工学部 サステナビリティ学科／環境システム学科

協力：認定NPO法人アースマンシップ <https://www.earthmanship.com/>

場 所： Earthmanshipのフィールド 風の谷（東京都 奥多摩町）

*静かな自然の溪谷で野生動物と自分たちだけのプライベートな空間です

2月24日に変更（悪天候のため）

日 時：2024年2月23日（祝・金） 9：30～16：30頃

*荒天の場合の順延日：2月24日（土）

定 員：20名 ※申込者多数の場合は抽選

集 合：JR奥多摩駅

*集合解散の時間と場所の詳細はお申込みいただいた方にお知らせします

参加費：無料

参加者：武蔵野大学に在学する学生、教職員、もしくは、特に参加を希望する人

内 容：

- 火の原理を学ぶ
- たき火をする場の状況の把握、たき火に適した樹種や薪の見分け方、安全と環境への配慮を学ぶ
- たき付けの作り方を学ぶ
- 自分で集めた薪を組んで、自分のたき火を作り育てる
- 火を維持しながら自分の火と過ごす
- 最高の食材で作ったアツアツの豚汁を楽しむ
- 各自が持ち寄った食材で焼きものを楽しむ
- 場に適した火の終わらせ方、後始末の方法を学び、その場を元の自然な状態に戻す
- 火や自然の話を分かち合う



講師プロフィール：



岡田 淳 (おかだ じゅん) さん
認定 NPO 法人アースマンシップ代表理事
東京都出身

小さい頃から自然が大好きだった祖父や父と共に山、川、海の自然に親しみ、中学生の頃からは自然保護にも関心をもつ。

自由学園・理学部卒業後アメリカに渡り、カリフォルニア州立大学、ユタ州立大学にて環境学（エコロジー／生態学、ナチュラル・リソース・マネージメント、森林学、野生生物学、野生植物学、アウトドア・レクリエーション学、等）を学ぶ。

ユタ州立大学卒業後、シエラクラブ（全米最大の環境団体）でのトレーニングを経て、コロラド・アウトワードバウンド・スクールで最も長期の野外教育指導者養成（ラフティング、ロック・クライミング、登山、Back country 踏破など、81日間の）コースを終了。また、アメリカ先住民の大地に生きる知恵、サバイバル技術とスピリットの世界を伝えるトム・ブラウンのトラッカースクールで、アパッチの古老、ストーキングウルフ（別名グランドファーザー）の教えを学ぶ。

6年以上にわたる滞米生活で、ロッキーの山々の縦走、コロラド川下り、グランドキャニオン上流地帯踏破など、数多くの大自然や多民族との生活を経験する。

帰国後、公私機関の環境教育や環境レンジャーの養成にあたりと共に、自然環境の専門学校(レンジャー・スクール)設立に参加し、カリキュラム作成およびシニア・インストラクター（実習指導）を務めた後、アースマンシップ自然環境教育センター（現、認定 NPO 法人アースマンシップ）を設立し、現在に至る。

- ◆公益社団法人 日本環境教育フォーラム(JEEF) 会員
- ◆NPO 法人 自然体験活動推進協議会 (CONE) トレーナー
- ◆自然体験活動指導者 (NEAL) コーディネーター
- ◆ウィルダネス ファーストエイド(WFA) /WMA
（その他、ファーストエイドと CPR /アメリカ赤十字社、水上安全指導員と救急員 /日本赤十字社 を受講
- ◆少林寺拳法、杖術（棒術の一種）、速読法 有段
- ◆2005 年開催トラッカースクールジャパン（スタンダードコース）インストラクター

認定 NPO 法人アースマンシップ

〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町 4-16-4

Tel 0422-20-8393 info@earthmanship.com <http://www.earthmanship.com/>

申込先：参加を希望する人は、

下記のGoogleフォームで参加申込みをしてください。

<https://forms.gle/9MLNqhYaXliYuCwP8>

申込期限 2024年2月5日迄

問合せ先： 村松 陸雄

武蔵野大学 工学部 サステナビリティ学科/環境システム学科

〒135-8181 東京都江東区有明3-3-3

<https://esg.musashino-u.ac.jp/>



催促中の報告書、原稿など諸事雑務を忘れて、たき火三味の教員M

アースマンシップのねがい

「アースマンシップ」は
現在の社会や学校システムで経験できない
自然の中での体験や
さまざまな角度からの学びを通して
人間が本来もっている「直感力（野性の勘）」を育て
「生かされている」ことの喜びを知り
地球人として何が大切なのかを考える場や
自分自身のすばらしさを発見する場として
活動してきました。

人は 何ができてできなくても
その与えられた命は尊く
意味があって今ここに存在しています。
知識や技術だけに頼る自信ではなく
生かされている自分のいのちに対する自信を
もつことができれば
今日という日が変わるはず。
自分の役割が見えてくるはず。

ここに来ると 生きているのが楽しくなって
なんだか元気が湧いてくる

アースマンシップはこれからも
そういう場所でありたいと願っています。

アースマンシップが大切する3本の柱

Mother Earth & Father Sky の意味を理解する

Mother Earth「母なる地球」はこの大地、自然とつながることの大切さを、Father Sky「父なる空」は、人間を越えた大いなる力を認め畏れ崇める心をもつことの大切さを表わしています。
自然を畏れ敬い、自然とつながることによって培われる「野性の勘」をもう一度私たちの手に取り戻すことをめざします。

丸ごとの自分を認め、自分を生きる

私たちはひとり残らず、役割をもってこの地球上に生を受けています。
その役割は、できる部分とできない部分をもちあわせていることが前提で与えられています。できる部分だけでなく、できない部分にも意味があるのです。
まずは自分と出会い、丸ごとの自分を認めることからすべては始まります。
そして丸ごとの自分を認める心はその人の核となり、より主体的に生きる道が開かれるのです。

よりよく生きる

自分のヴィジョンを求め、その役割を真摯に全うすることが、よりよく生きる道につながります。
そのためには謙虚な心が必要です。
よりよく生きるということは、心身共により健やかに生きることであり、人間が本来あるべき姿に近づくことでもあります。